

# 八王子支部ニュース

Tel : 042(623)1141 Fax : 042(627)8741

E-mail : sensei@tokyoso-hachioji.com & hachioji-tu@nifty.com



## みんなの声でよりよい社会を

都教組八王子支部執行委員長 佐々木清明

あけましておめでとうございます。

最近、息子に教わった「リエゾンー子どものこころ診療所ー」というコミックに、はまっています。発達障害のエピソードに、「自分も発達障害の当事者だった」と思うことしきりです。空気が読めない。整理ができない。さっき言われたことを忘れる。そもそも聞いていない。私は寛容な人々と出会い続けたおかげで、深刻な二次障害には至らず、「あなたは(発達障害の)成功例だね」と言われたりしました。出会った人々に感謝しつつ、しかし、私の子ども時代に「特別支援教室」があったらどれほど安心できたか、と思わずにはられません。

さて、立場の違いは認め合いつつ、協働して力を合わすべき「目標」は山ほどあります。大きく地球規模で言えば気候変動対策、核兵器禁止条約への参加、真の男女平等社会の実現及び性的マイノリティーへの理解推進、子どもの貧困・学生の学び支援等々。そして、わが街八王子で言えば、いじめ対策、体育館のエアコン設置、特別支援教室のより良い在り方、職場の多忙やハラスメント及び労働災害をなくすこと、専任の学校司書配置の充実等々。

昨年秋の衆院選など様々な選挙で、私たちの声は「公約」や「政策」に反映されたのでしょうか。名称、新しい役所を作ることの是非はともかく「子ども庁」もしくは「子ども家庭庁」が“2023年のできるだけ早い時期”に創設されることが閣議決定されました。しかし、子どもにかかわる現場ー児童相談所や自立支援施設、子どもの医療・保育・学童保育などの放課後支援、そして何より私たちの学校など様々な現場が、人と予算の不足に苦しんでいる厳しい現実があります。

協働して力を合わすべき「目標」の達成は、私たち現場の当事者の声にかかっていると思います。声を出し続け、共に考え、学ぶ場を作り、その声を市政・都政・国政に届ける私たち組合の存在が、今ますます大切になってきています。要求の実現に向け、今年も仲間を増やし、共に頑張りましょう。

さて、文頭に「特別支援教室」について話しましたが、3月12日土曜日、「特別支援教室の未来」と題した学習会を行います。明星大学教授の星山麻木さんが講師です。ぜひ皆さんとともに学習の機会になればと考えています。多くの方のご参加をお待ちしています。

# 3学期支部委員会

参加確認票

1/21(金)までに支部へ

・日時 2022年1月26日(水)

・場所 クリエイトホール第7会議室

・内容 18:00~18:20

・分会交流

18:20~18:50

・定年延長について

・支部役員選挙について

・新年度当初の取り組み 他

18:50~19:30

・公務災害について

[ZOOMによるオンラインでの参加手順]

① Appstore、Google Playストアなどで、ZOOMのアプリ(無料)をダウンロード

② 開催時刻にZOOMアプリを開き「ミーティングに参加」をタップ

③ ミーティング ID

515 160 6599 を入力

④ パスコード

ikaLD8 を入力

※ 会議に参加中はマイクをオフ(ミュート)にしてください。

※ Wi-Fi環境がある場所からの参加をお勧めします。

## 「業績評価・本人開示」の相談は、都教組(東京都教職員組合)へ

恣意的評価は許さない! みんなで開示申請を!



03-3230-3891 またはホームページから

事務職員・栄養職員の開示申請期間は 1月11日(火)~17日(月)

教員の開示申請期間は 2月下旬 (区市町村教育委員会ごとに定める)

### 特殊勤務手当の改善

を求める緊急職場決議

1月7日~1月21日

※職場に送りました。

訴訟前も対応! *これでキマリッ!*

教職員賠償責任保

募集期間 条件最高で~す♥

1月17日~2月18日

月々525円 で毎日安心!

東京海上・都教組・桜保険

詳しくは支部へ

《ネット署名の取り組み お願いします。》

都立高校入試への英語スピーキングテスト導入の

中止を求めるとりくみにご賛同ください

東京都教育委員会は令和5年度都立高校入試においてスピーキングテストを導入しようとしています。全ての中学3年生を対象に、タブレットから流れる問題に一人ひとりが答えを録音し、業者により採点され、都立高校入試に20点満点で加算されるというものです。英語スピーキングテストは、令和3年度大学入学共通テストへの導入が一度は決定されながら、採点の不公平性や教育の平等権などが確保できないことなどの理由により撤回に追い込まれました。同じような問題のある制度を、東京では導入できないという根拠がありません。

[ご賛同] → こちらのURL から <https://chng.it/JkBrv>

◆採点の公平性、評価の信頼性、授業と英語教育への弊害、学力格差の助長、個人情報漏洩の危険性など、問題は山積みです

